

「かんきつ中間母本農6号」の露地栽培における特性

「かんきつ中間母本農6号」は、そうか病、かいよう病に強く、手もぎ収穫が可能な露地栽培に適した品種である。

背景・目的

- 極早生温州みかんの価格低迷により、それに変わる有望な品目への転換が急務となっています。
- 健康志向ニーズを踏まえ、機能性成分を多く含む「中間母本農6号」（写真1）について、露地栽培での特性や生産性について検討しました。

成果の内容

- 樹体特性は、枝は直立性で、樹勢も良く、かいよう病、そうか病に強いです（表1）。
- 収量は、5年生以降で2tを超え、果実糖度は、毎年Brix10～11と安定した品質を保っています（表2）。
- 手もぎ収穫が可能で、収穫時間はハサミ収穫の1/3程度短縮できます（表3、写真2）。

表1 樹体特性（2020年）

品種	樹姿	枝の性質	樹勢	枝の粗密	枝梢の刺		かいよう病発生程度	そうか病発生程度
					多少	長さ		
かんきつ中間母本農6号	円	直立	中	中	少	短	無	無

※樹体特性は、系統適応性試験に準じて実施（樹齢6年生時）

表2 収量及び果実品質（2018～2020年）

年	1樹収量	樹容積	1m ³ 換算収量	10a換算収量	横径	果実重	果皮色（赤道）			果皮厚	種子		品質		
							L値	a値	b値		完全	シイナ	Brix	クエン酸	
	kg	m ³	kg	t	mm	g				mm	個	個	%	%	
2018 (4年生)	—	—	—	—	61.2	108.6	—	61.4	23.6	37.2	3.8	0.0	0.0	11.5	0.84
2019 (5年生)	12.4	3.0	4.1	2.1	71.8	166.2	—	58.3	29.5	34.3	3.8	0.0	0.0	9.8	0.81
2020 (6年生)	12.1	6.6	1.8	2.0	68.2	146.4	7.3	57.8	30.1	34.4	3.3	0.0	2.5	10.6	0.91

表3 収穫作業時間（2020年）

試験区	収穫果数	手もぎ収穫成功率	収穫時間
手もぎ収穫区	120.5	100	2.2
ハサミ収穫区	102.5	—	6.2



写真1 「かんきつ中間母本農6号」の収穫前



写真2 手もぎ収穫（左：果実、右：へた部分）

成果の活用方法（又は期待される効果）

- 県内の露地カンキツ生産者及び新規導入予定者への情報として活用できます。
- 普及対象地域・面積 中部・南那珂（25 a）

留意点

- 平成28年4月に、黒ボク土に2年生苗を定植しました。（株間3m×列間2m、166本/10a）
- 令和2年度は、結果3年目となります。
- 周辺にかいよう病罹病樹がある場合は、本種にも軽度なかいよう病の発生が確認されています。

関連研究成果カード：2021年度 前期 番号16

関連事業名：温暖化に適応した有望高温性カンキツの低コスト栽培技術開発と新たなカンキツ品目探索(県単)

研究期間：2018～2020年度